

市長と本気で語るタウンミーティング「言っちゃお！市長と。」

【地域別】西砂学習館（概要）

日時：令和7年2月8日（土）

10時00分～11時45分

場所：西砂学習館 視聴覚室

1 開会の挨拶

（改革推進課長）

それでは、定刻となりましたので、市長と本気で語るタウンミーティング「言っちゃお！市長と。」を開催いたします。

本日は、土曜日の開催にもかかわらず、多くの方にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

私はタウンミーティングの事務局を務めております市長公室改革推進課長の奥野と申します。よろしくお願いいたします。

本日の予定ですが、この後、酒井市長から一言ご挨拶いただき、意見交換に入ります。意見交換の終了後、最後にまた一言ご挨拶をいただいて、終了は11時30分を予定してございます。

それでは、初めに市長からご挨拶をお願いいたします。

（市長）

皆様、おはようございます。

本日は西砂学習館という地でございますので、この周辺の皆様方に主にお集まりをいただいていることと存じます。早朝より多くの皆様方にお集まりをいただいていること、まずもって御礼を申し上げます。ありがとうございます。

また、先日、子育て世代を対象としたときに、私、風邪をこじらせてしまいまして、子育てひろばという場所柄もあって、急遽中止をさせていただきました。もし、この中に行こうと思っていたのにとという方がいらっしゃいましたら、その点については深くお詫び申し上げます。

この地域の皆様方にはいろいろと私も認識をしている大きな問題があることも存じ上げておりますし、またそれぞれの地域の中で、皆さんが普段市政に思っていることでこんなことどうなのということ、ざっくばらんに聞いていただければと思います。

私も市長就任して2年目でございますけれども、過去のタウンミーティングは、ほぼその場でお答えができるかなと。ただ、細かい数字等の話になったり、あるいは立川市だけでは解決できない、そういった課題等々につきましては、後日回答させていただいたり、あるいはその担当課にお伝えするというところもあるかと思っておりますけれども、その点についてはご容赦いただければと思っております。

来週の10日には議会送付をいたしますけれども、令和7年度の予算原案も既に庁議で決定をしております。一般会計で約900億円規模の予算原案が示される予定になっておりますが、その内容につきましても話したいのは山々でございますが、議会に議案として送付をした後でないと、言えないこともございますので、その点については、はぐらかせざるを得ない面もあろうかと思っておりますが、ご了解をいただければと思っております。

今日は限られた時間ではございますけれども、皆様方からの貴重な声を今後の市政に生かしていくために、いろいろなお話をお伺いさせていただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 意見交換

(市長)

では、早速ではございますが、我こそは1番という方、よろしくをお願いします。

(参加者)

本日は貴重なお時間、ありがとうございます。

事前に手持ちの資料のこちらを見てもらっていいですか。

まず、1番に、一番町の玉川上水沿いの道の危険性と、あと通学路に対する危険性、この辺の交通安全の考え方について、ご意見いただければと思っております。

まず1点目が、玉川上水沿いの北側の道に歩道が非常に狭くて、30センチあるかないかぐらいで、大人でも子どもでも傘差したらもう車道にはみ出るような形、一方で山王橋に続く道になりますので交通量も多い、かつ信号がない直線の道ですので、制限速度は30キロですけれども、守っている車は見たこともないですというところで、大人であっても結構危険性を感じるにもかかわらず、何も対策がされていないというところを課題に思っております。

2点目は、通学路です。立川市で小学校と協力して通学路のマップを作成いただいているかと思えます。そのマップに指定されている通学路が五日市街道の横断歩道を通る状況が一つあるんですけれども、その横断歩道は天王橋の交差点の近くなんですけれども、信号も何もないただの横断歩道がある。天王橋の交差点なので交通量も多くて、渋滞も多い、かつ五日市街道沿いなのでスピードを出す車がこちらも多いです。渋滞していて、かつ信号に間に合わせるようにスピード超過する車も多いですし、交通量も多いので、なかなか横断歩道の前に立っていても、車が止まることがない。特に目立ちづらい小学生になるとより一層止まらなくて、危険性があるということで、通学路に指定されているにもかかわらず、安全対策がされていないかなと感じたところです。

なので、個人的なもので申し訳ないですけれども、玉川上水沿いの北側の細い歩道と、あとは車の交通量、スピード超過の対策と、通学路に指定されている信号のない横断歩道の対策に関して伺いたい。

それと今日、松中小学校でイベントがあるみたいで、近所の方が一緒に来られなくて、同じ意見を持っていて、少なくとも通学路に指定されているところの安全確保をしてほしいと。立川市、警察署等々、各所にここの交差点について、安全対策是正処置をしてほしいと別の方が意見を申し上げたところ、全部たらい回しにされて何もされていないという状況がありますので、まずはこの管理部署に相談を持ちかければよいかということをお教えいただきたいと思えます。

(市長)

1点目の歩道に関しましては、私も通ることがある道で、確かに細いし、抜け道にもなっているということで、ただ方法としては車道、歩道を広くするためには車道を、でも規定ってあるじゃないですか、そこか、セットバックか。セットバックってまず不可能ですよ。道路課等にも相談をしてみますが、安全対策では、確定的には言えませんが、1つは一方通行にする。ただ、その通り全ての方の了解が得られないと交通規制ってかけられないし、解くこともできないので、かなりハードルが高い。セットバックは都市計画決定をして道路幅員を広げるといっても、これもなかなか皆様のご了解を得なければできない。これだけ言って何もできないという話になってしまうので、抜け道として使われている中での対策としてスピード抑制が

ある。

ガードレールが設置ができるのであればいいですけども、かなり狭いし、電信柱も立っている。今度は歩道自体が歩けなくなってしまうという問題がある。そうすると、やはりそこを通過する自動車等のスピード抑制をどういう形で行っていいのかということ、交通管理者である警察署と相談をしながら、歩行者の安全対策という観点で取り組んでいく。

あと、もう一つの通学路とも若干通ずるところはあるかもしれないんですけども、抑止的な意味で例えば横断歩道に人が立っているときに止まらないといけないじゃないですか。駅周辺だと何か所かそういうふうな形で集中的に警察で取締りしているところがあるんですけども、それとは別に通学路等々の時間帯において、通常の規制をちゃんと守っていないということが散見されるような場所は、定期的にも警察がいるかもしれないということで、抑止効果を図っていくというような対応の仕方はあるのかなと。

まずは、根本的にどこの道を通ったら安全に子どもたちが通学ができるのかという問題については、担当課である学務課が一義的に考えていく。

(参加者)

学務課の方には相談しました。

(市長)

そうしたら何て言われましたか。うちじゃないって言われましたか。

(参加者)

うちじゃないといえますか、何も対処はできないというので、そこは小学校で調査をして安全なルートを確認しているから、小学校に相談しろというふうにとらい回しでした。

地域安全マップが全てだと言われました。地域安全マップの安全性は学務課では把握していない。ここに示されたとおりのルートでしか、学務課はルートは申し上げられないということで、安全性に関しては何も配慮はなかったです。

(市長)

分かりました。

教育委員会の独自性というのもあって、そこに市長があまり介入しちゃいけないという建前はあるんだけど、それはあくまでも教育内容のことであって、子どもの安全とかそういうところで今の答えは申し訳ない、私としても残念な話なので、それは教育委員会にも基本的な考え方を私からも正したいと思いますし、交通安全マップは一応皆さんに注意喚起という形で、市内エリアごとに作っていると思うんですけども、それもその時々状況によって交通事情等も変わってくることもあるし、また住民が増える場合とかいろんな状況で変わってくると思うんですよ。

その部分については定期的に見直しもしなくてはいけないし、ただ単に学校に任せて、学校の先生がそこで何かするわけでもないし、そこはうちの中で実態として、一義的にはお子さんを通わせている学校が一番子どもたちのことはよく分かっている。一番分かっているのは子どもかもしれない。だから、5年生、6年生ぐらいの子どもを目線でどこが通学路の中で危ないかというふうなことって、もしかして一番子どもがひやっとしたりとか、子ども目線での怖さというところをちゃんと一度、松中小学校だけの話ではなくて、全校的に見てもらって、その上で危ないと思うところをハード面なのか、あるいは通学路の指定の仕方なのか、またそこ

しかも通れないという場合もあるじゃないですか。といった場合において、既存の先ほどお話にあったような規制があるにも関わらず、それを守っていないんだったら守らせるような、警察の配慮の部分でお願いができないのか。

さらには、これは少しハードル高くなるんですけども、規制があったほうが良いという、地域の方たちのコンセンサスが得られるのであるならば、警察に対して交通規制を考えてくれないかというような働きかけというものもしたほうが良いのかなと思うので、教育委員会とも話させてください。

たらい回し、今の話は確かにうちじゃありません、そっちですって言って、その先は、いや学校はそんなこと言われたって立川市で考えてくれなきゃできないよって、普通は答えますよね。なので、その点については教育委員会と相談させてください。宿題としてお預かりします。

(参加者)

すみません、ありがとうございます。

あと、1点、警察による指導等々の是正処置というよりも、やっぱり課題が多くて長期的な視点になるかもしれないので、予防的な処置をぜひお願いしたいと思います。

(市長)

違反を取り締まるのではなくて、違反をしないような警察の予防的措置と、これは、私が都議会議員時代から警察にはお話ししているんだけど、取り締まりを比較的に見えにくいようにやっていることが多いので、そういった部分は立川警察署署長さんともお会いする機会もあるので、全てが見えるようにということだけじゃなくて、そこはうまくバランス取ってやってくれというようなことは、一般論として市内全域の問題としてお話しさせていただければなと思っています。

(参加者)

ありがとうございます。

(市長)

では、次の方どうぞ。

(参加者)

今の方に続く話になってしまうんですが、一番町だったり、西砂町というのは今すごく渋滞が増えていて、子どもの数も増えています。

西武立川駅前の開発も一段落して、あと外国人の方も西に多くいらっしゃるの、住民の集中がすごくて、いまだに新興住宅がばんばん建っている地域なんです。まだたぶん人が増えると思うんですけども、小学校、中学校もパンク状態で、人が溢れている。

その中で、ちょうど七中の通り、昭島駅に通ずる、村山にも通ずるんですけども、その五日市街道を交差する宮沢の交差点があるんですけども、その交通量がすごく多くて、村山の方が来たり、昭島の方が来たりという、すごく交差するところで、自転車も多いし、その方たちが朝、すごいスピードで交差していくんです。あと、交差する五日市街道も含めてなんですが、五日市街道を横断する、歩道でもないところとか、横断歩道もなく横断してくるんです。だから、五日市街道の交通量と宮沢、縦の交通量がすごく交差するところで、ばんばん自転車が横断してきてしまうので、気を付けてはいるんですけども、一時期事故も多くて、

以前警察にもお伝えしましたし、あと住宅が多いということで、少し前に闇バイトじゃないですけれども、変な勧誘の業者さんが家に来まして、そのことも併せて警察にお伝えしたら、西は遠いからねって言われちゃったんです。

だから、立川市全体を管轄するのが市役所だったり、警察署だったり、教育委員会もそうなんですけれども、立川市は端っこまで、西だけじゃなくて南も北も満遍なく見ていただくのがよろしいのかなと思うんですが、遠いからって言われてしまうのは。

(市長)

切ないですよ、それは。

(参加者)

先日も直接、警察署に行って申し上げましたし、なかなか動いていただけないというのがあります。

(市長)

分かりました。立川警察署長さんとかともお話しするときにはそういった面も含めて、立川警察署自体が立川だけではなくて、国立も管轄にしている、立川警察署の警察官は約100人って言ってたかな。夜は手薄になるんですけれども、24時間でずらしながら3交代勤務なので、よく昔から交番つくったりとかという話ってよくあって、交番つくるのに大体予算1億円ぐらいかかるんですよ、人件費で2人ずつ置いても6人いないと回せないという。最近、交番だけ夜はここに連絡してとかっていう形で、都議会議員時代にそういった話を受けたこともありますけれども、とはいっても管轄区域内なので、その部分については駅周辺だけではなくて、広く目配せをしていただけるようにという、これはあくまでもお願いベースで立川市の所管の署ではないので、そこはお願いをする。

あと、自転車の横断だとか、交通量という問題はなかなかすぐには解決しないんでしょうけれども、南北交通でそれができたからといって、すぐにどうなるのかというのは分からないんですけれども、今、都道という観点からすると、立3・3・30号という東大和方面からのものと、あとは、まだこれはなかなか計画が具体化していないんですけれども、多摩川まで抜くという計画が、都市計画にはあると。そういうのが出てくると、全てそこに集中しないで、少しこっちに回ってくれるんじゃないかという、そういう期待感があるというぐらいの話なんですけど、ただその一方で自転車の横断、どんどん横断してきちゃって歩行者が危ない。立川警察署内でも従来歩道については自転車通行可にほとんどなっていたと思うんですけれども、それは特定の歩行空間と自転車走行空間がうまく分離できるような広いところはそういった形にして、それ以外のものに関しては、車道を原則通行すると。子どもと、70歳以上の方については除外みたいな形で、自転車ルールの厳格化というのが進められているので、駅周辺だけではなくて、今、お話にあったような目に余るような部分については、ちゃんと指導なり、取締りなどをしてほしいという形で、それは立川市からも警察署にお伝えしたいと思います。

とはいっても、相手様のあることなので、すぐに今日明日で効果がでるかどうかなというのは、あくまでもお願いベースですけれども、少し、強い形でお願いをしたいなと思っています。

(参加者)

何か垂れ幕じゃないですけれども見えるような注意を促すものだったり、先ほど市長もおっしゃられたように見えるところに立って注意を促していただいたりとか、見える形で促したほ

うが、たぶん人員的にも。

(市長)

例えば、ここは取り締り重点地区とか、それがいつまで効果があるのかというのって、実際にある程度取り締まられないと実は直らないじゃないですか。悪い道德観とか、モラル感とか、あるいはそういう恐れがあるよというふうに喚起を例えばいろんなことにするじゃないですか。実は今、立川市の中でいろいろとエリアは違うんですけども、サンサンロード内でスケートボードが人気というのもあるんですけども、かなり危ないというので、立川市にもそういった広聴はがきをいただいて。それで警察署にお願いして、巡回パトロールをしていただいているんですけども、道交法上でもそこを通過していただけでは捕まえることもできない。物を壊したり何かそういうことがあれば検挙できるんですけども、昨年からパトカーに回ってもらって、今もやってもらっているんですけども、なかなか逆にパトカー回っていても、捕まらないんだって。初めは抑止効果があったんだけど、捕まらないと思った瞬間にもう全然効果が薄らいちゃっているとかということもあるので、道路上で道交法に違反する行為を抑止をする。いざとなったら警察も検挙ができるという形の場所であれば、当然ここで何かやったらすぐ捕まりやすいんだということは、抑止効果になるのかなというふうに思います。そこら辺のバランス、でもずっといるわけにもいかないし、そこら辺は合わせ技でやるのが一番で、しっかり交通ルールを守ってもらいたい。

あとは、車への注意喚起、スピードもここは通学路だから気をつけてくださいねとか何とかという、こういうモラルに訴えるところが大きくて、なかなかすぐに実効性という話もならないんですけども、そこら辺についても西砂地区については、今後皆さんも地域に住まれて懸念に思うお隣の市の施設の問題とかもあって、立川市でもいろいろと要請はしているんですけども、今後ますます子どもたちの通学路の安全であったり、皆さんの歩行空間やあるいは自転車時の移動空間等々に関する安全性の懸念というのは、今以上に高まっていく恐れが想定されるので、その部分については立川市も事業者にもいろいろと話をしたり、あるいは警察署にもこういう規制はできないのかということ、働きかけしていきたいと思っております。

(参加者)

道路のことなんですけれども、その交差点、松中団地の都道の五日市街道と昭島方面からくる市道の交差点のところの話で、道路の角の畑のお家が売られて宅地になったんです。そこに分譲の看板が出ていたんです。私、去年の暮れにもう駄目かと思って、2022年11月に立川市役所に私も写真と手紙を持って立川市役所の道路課に陳情に行ったんです。

その一角の次のところは道路が下がっているんですよ、セットバックで。その次のところも個人のお宅でセットバックしているんですよ。でも、その角がセットバックされていなくて分譲になっていたんで、その前そこで交通事故を見て、トラックが曲がって、青になったんで曲がってきて、昭島方面から自転車で来た年配の方が転んで怪我をされたんです。私、警察呼んで、そのところがちょうど歩道の最後のところで信号を待っているところなんです。そのところをセットバックしないで、宅地分譲できちっとその土地、今まであった土地を処分するっていうんで、危なかったんで、道路課に写真を持っていったんです。

そうしたら、道路課の方がそこは都道だから、立川市では何とも言えませんって言うんです。それで、あなたが言いたかったら都庁に行ってくださいって言われて、私、都庁に行ったんです。それから1週間ぐらいたって、都庁にそっくりな手紙と写真を持っていきました。都庁の方は聞いてはくださったんですけども、できませんと。個人が何か言っても、都庁では聞い

とくさらないんだらうけれども、立川市で上げていただければ、組織が大きいから、一人が言うよりは、立川市の方がまとめて言うてくださったほうが力があると思うんです。

一応、都庁に言ったら、その後1か月ぐらいしてから、北多摩北部建設事務所、そこから電話が来て、検討しますと言われたんですけども、それから何も言うてこなくて、検討されているのかどうか。特にこの五日市街道は、片側は歩道があるんです。片方は路側帯がある。市長、一度歩いてみてください。電信柱があって、傘差して歩けないんですよ。

それで、松中団地の方が病院にも行けないと言って、そういうまちじゃしょうがないと思うんですよ。

だから、やっぱり少しづつは新築のお家が建ったときは、家は下がっているんです。でも、塀はそのまま置いてあるんです。だから、建築許可を出すのは立川市だと思うんです。だから、そのときにちゃんと下がるように、住民が病院にも行けないまちは困ると思うんです。

ご存じだと思いますけれども、昭島のゴルフ場が全部もう今、草です。それで、7棟の建物が建つという工事をしています。そうするとここの方のお話で、1日4,000台の車で、1時間400台の車が通る。どっちに通るか分かりませんが、400台通るとその角なんかは五日市街道に入る道なので、交通のことを考えて、ここは松中小もありますから、通学路にもなっているところに横断歩道の部分が待っているところがないというのは困ると思うんです。

だから、やっぱり歩道は五日市街道が都道であっても、やっぱり立川市から都道も併せて広がってくれないと、とても危なくて困ると思うんです。だから、個人が都庁に申し上げるよりは、立川市はやっぱり力が違いますから、そういうところを開拓していってもらいたいと思います。

(市長)

たぶん、奥はセットバックしているのに、こっちはセットバックしていない、それたぶん道路のもととの都市計画の中で、要はセットバックをするという規定になっていないんですよ。そこには道路線だとかが引いてあると、そこまで私有地となる。都市計画道路で、あと車線規制があったりだとか、都市計画法上で無理やりセットバックさせることってできない。

もしご存じだったら教えていただきたいんですけども、基本的には民間の私有地の中で容積、建ぺい、用途地域の話がありますけれども、その私有地の中で都市計画上何か規制の対象として第1種住専からそれぞれ用途地域になっているじゃないですか。そこがちゃんとその部分に網がかかっているのか、いないのかによって、ただ単に建築指導の面で下げろ、下げないというのは、法令上違反していなければ、下げろとかって言うのは言えないので、ただ、今のご指摘の部分がどういう形であったのかというのは、ここでは都市計画図見ないと分からないので、分かりませんが、ただ一般的にはそういうことが言えるだろうと。

ただ、そういった中でも今の東京都のこら辺の道路管理というのは、北多摩北部建設事務所、そこは東京都建設局の出先機関なんですよ。そこが道路の補修であるとか、あとは実際に計画が決まったものに関しての土地の取得、工事監督をする機関なので、今、お話をいただいたようなもので、既存の道路に関しては北多摩北部建設事務所、たぶん今の五日市街道について、要は拡幅という話になるんです。歩道をつくるという話になると、拡幅という話になると、従来の都市整備局というところで道路の計画をつくる場所があるので、そこに働きかけをして、じゃ五日市街道の拡幅についての都市計画決定をしてもらえるのか否かということ、たぶん、地元の住民の沿道の方たちとの協議等々を得て、線が引けるのか、引けないのかという、そういった手順を踏んでいかないと、私有権の侵害にもなる話なので、その部分についてはおっしゃるとおり、なかなか市民一人だけの意見で何かなるかということ、そういうこと

でもない。立川市としても、私もそれを兼ねがね五日市街道って結構交通量多いのに、歩道があるところとないところもあるし、確かに電柱があったりだとか、木が生えていたりだとかというところで通りにくいところもあって、あれだけ交差点だけはすいすいプランっていうのを東京都がして、右折レーンをつくらないと車たまってしまうというところで、その部分だけは指定地域をつかって、土地買収してやっていこうということはやっていたんですけども、それ以外の部分に関しては、やはり東京都に立川市からも問いかけはしていきたいと思います。

あとは、地元の都議会議員も2人いますので、こういう場でそういった話も出ているので、話できない仲ではないので、その部分については伝えて、そういった地域要望あるから、立川市からもやるけれども、都議会からも話をしてほしいということは伝えていきたいと思います。

何となく、たぶん東京都の検討しますというのは、限りなく検討がずっと続くということに近いのかなという、行政機関によって検討しますという意味合いの温度感が違うんです。なので、その部分については、私どもも地元からそういう声が、逆にそういう声が地元の自治会とかからもある、立川市としても、じゃあ立川市がそれを東京都に要望する根拠って何ですかって、タウンミーティングで意見が出て、例えばみんなから同じようなことを言われて、地域の皆さんの大方の、6割、7割ぐらいの方が、たしかにそうだよね、それは改善したほうがいいよねって思っているというような話があれば、それはそういう裏づけがあって、立川市としても東京都に対してお願いをするということになるのかなというふうに思います。ぜひそういった声をできれば集めていただければ、立川市としてもやりやすいし、地元の議員さんとかとも話するときに、どうなのって皆さん、普段市民の方と話ししている中で、そういった声って多いんですかみたいなことは逆に議員さんともコミュニケーション取って、そこら辺は都への働きかけの手法として、どういうふうに働きかけをしていくのがより効果的なのかという部分は、私も都議会議員の経験のほうが長いので、そういう声のバックがあるんだっていうところを上手く東京都側に伝えていくのかということも必要なので、いろいろとあの手、この手は考えてみたいと思います。

(参加者)

立川市役所の方が立川市ではできないって、それは東京都だっただけで言われちゃって、東京都に行ってくださいって、立川市の道路課の方に言われたんですよ。

(市長)

なるべく私の市政になってからはそういった回答をしないようにしてほしいなという方向で、一旦はそれは直接言ってもらえるのもそれは大切だと思うんです。立川市からだけだと、本当にそれはそうなのかって、そうやってきて、私が担当者だったら、立川市でもそれはすぐにはい、そうですかというわけにもいかないんで、一旦そういうご要望というものを立川市の中でも共有させてもらいますと。その上で立川市としても当然そういう声が多いのであるならば、東京都にも立川市としても働きかけをするけれども、やはり当人の思いは思いで東京都に言ってもらわないと、そういう声はただ単に立川市が何となく言っているんじゃないということの補完をするという意味で、お伝えをいただければ、それは立川市としても助かりますというのではないと何か冷たいですものね。

なので、立川市としてはそれを伺って、立川市の道路ではないと基本的には立川市の判断だけではできない、立川市もお願いをするという形なので、やりますとはなかなか言えないから、躊躇してしまうところはあるんでしょうけれども、言うのはただじゃないですか。住民の方が

東京都に対して要望するのは。要望してできるかできないかは別だけれども、地域要望があって、都道であって、もう立川市としてこういう地域住民の要望があるんだっただけじゃいいんじゃないのかなとは思いますがね。

ただ、それで過剰に立川市が言ってくれたらできるんだっていうふうに、過剰な夢を持たせてしまうというのもあるかもしれないけれども、一応ちゃんとこういう建てつけなんですっていうことはお伝えをしながら、伝えていければなと思っています。

では、次の方。

(参加者)

先ほどの方がおっしゃったように、五日市街道の問題って深刻だと思います。ただ、可能かどうかを含めて、あの狭いところをどういうふうに改善にできるのかというのは、私の頭では全然考えがつかないんですけれども、何とかしてほしいなと思います。

熊川武蔵野の交差点というのはご存じでしょうか。総合リサイクルセンターからいわゆる西砂バイパスを通して、昭島方面に抜ける通りで、あのあたりから16号に向けて、五日市街道を拡幅するというふうなことで、もうあそこは土地の買収が済んでいるようなんです。工事は始まっていないんですけれども、そういう事例も現にあるようですので、西砂とか、一番町と状況が少し違うのかもしれない。

(市長)

たぶんいつも渋滞しているところですよ。道路用地として空地になっているなというところですよ。

(参加者)

もう用地買収は済んだらしいんですけれども、ただ工事が始まっていないという状況なんです。ただ、そういうことがありますので、何とか立川市からもお願いできればなと思いました。

それで、私は3点ほど今日、申し上げようと思って出てきたんですけれども、1つは前の方も、前の方もおっしゃっていましたが、GLPのことについてで、やっぱりトラックの台数だけではなくて、そこへ勤める人の自家用車の問題も含めて、かなり車の数が通行量が増えるだろうと思うんです。ですから、安全対策というか、そういったところをどういうふうに進めていくのかということ、GLP自体はもう工事が進んでいるので、止まらないんだろうなというふうに悲観的に思っているんですけれども、であれば、その次の対策というのをどういうふうに立てていくかということが大事なところだと思います。

基本的にはGLPのところは昭島市ですので、どんなふうに立川市が関わっていけるのかってよく分かりませんが、ただ交通の安全が確保できるような対策というのを昭島市とも相談しながら、うまい具合に立てていただければなと思います。

それから、2点目ですが、基地の問題です。最近またオスプレイが飛行訓練で飛んでいて、ほかのところを飛んでくれればまだいいんですけれども、私のところはどうも滑走路のすぐそばみたいなところですので、かなり飛行高度が低いんです。訓練空域みたいなところがあるのかどうか分かりませんが、輸送機の飛行機の訓練航路にはあんまり西砂町は入っていないみたいで、福生方面には行くみたいなんです。

ところが、ヘリコプターグループは西砂町を飛ばすんです。家の真上とは言いませんけれども、かなり近いところを飛んだりすると、もう本当にうるさくて、家も揺れるような感じですので、これは立川市だけではどうにもならないのかもしれないかもしれませんが、そういう状況があるとい

うことはぜひ覚えておいていただいて、何かのときには対策をお願いできればなというふうに思います。

基地絡みで、あと2つです。

1つは、先ほど申し上げました総合リサイクルセンターから熊川武蔵野の交差点に抜ける、いわゆる西砂バイパスですけれども、あそこの基地の反対側、つまり西砂町の側は国有地で、西砂バイパスのところに国有地の側からやたら木が覆いかぶさるような形であったんです。立川市から働きかけていただいたのかどうかよく分かりませんが、今、すごく綺麗になりました。国有地のフェンスから基地と反対側、つまり国有地の内側に二、三メートルぐらいスペースをつくっていただきましたので、随分見通しがよくなった。車であそこを通る人も南下する場合には、南に下る場合にはかなり邪魔だったと思うんです。それが改善されたので物すごくよかったなと思っております。

それから、立川市議会だよりをいただきまして、質問と応答の様子のエキスのところだけは読ませていただきましたが、何人かの議員の方が質問していて、答えは出ていなかったように思うので、どうですかということ伺いたしたいと思います。

それはPFASのことです。

最近何か興味が高まってきているような気がしますけれども、やっぱり周辺の住民としては心配です。国分寺辺りで随分高い数字が出るというふうなことなので、果たして今、住んでいるこの辺が一体どうなのかなというふうな心配があって、これは化学的見地じゃなくて、やっぱり本当に素人考えなんですけれども、このすぐそばに体験農園がありまして、そこでやらせてもらっているんですけれども、そういうところに地下水か何かの関係から農作物にフッ素とか、そういったものが紛れ込まないのかななんて不安にも思っていますので、PFAS対策って立川市ではどんなふうに行われているのかというのをお聞きしたいと思います。

(市長)

ありがとうございます。

1点目のGLPに関しましては、もうお話のとおり昭島市域内のことで、建物を建てる、建てないということに関して、立川市としてはなかなか何もすることができないというのが正直なところなんです。

ただ、環境影響評価書を東京都から求められたときに、通常は交通問題とかについてはあまり言わないんですけれども、交通対策の部分について、東京都の環境影響審議会に対する意見照会の回答書には、立川市長としての意見を留意してほしいということは記載をしました。それに対して、東京都の環境審議会もできること、できないことってあって、できる範囲内では踏み込んでくれたのかなということです。

今後の話なんですけれども、建物はそういう形になってしまうというのと、この点については隣の昭島市長ともお互いに課題は違うところもあるんですけども、共通する課題の部分については、それぞれのまちづくりの担当と連携してやっていきたいと思います。市長就任して早々に昭島市長ともお話をさせていただいている中で、相談しながらやっているところもあれば、温度感が違うところもあるのかな。

いずれといたしましても立川市としては、一番最大の問題は交通の問題だと思っています。この点については、地元の自治会、西砂地域の方たちの各自治会や団体の方からご要請があって、立川警察署にもそういった要請文はお渡しをしているんですが、立川警察署だけではなかなか車の新規の問題って、片方を何かすると、もう片方に移動してしまうということがあるので、昭島警察署とも連携しなくちゃいけない課題だと思っています。

私も何かの会でお話ししたかもしれませんが、都議会議員のときに市長選挙に出ることは自分の中でもう想定をしていたので、警視庁の交通部に、時間帯で何時から何時までの間、何トン以上の車はこの道通っちゃ駄目みたいな規制というのは、道交法上だとか、いろんな規制上できるのか、できないのかを教えてくださいということをお伺いをしたときに、制度としてはできると。制度としてはできるんだけど、そこを規制するとほかに車はその時間帯に迂回をしていってしまうので、その部分については、実際に規制をするとなると、警察としても判断は慎重にならざるを得ないという話でした。

とは申しませんが、現状の状況からすると、既に先ほどお話しした2人の都議会議員には私からもお願いをして、立川署には地元としてお願いをするということはあるんですけども、2市に跨るようなことに関しては、警視庁の交通部に都議会のルートから依頼するという、依頼の仕方とかそういったものも、私もずっと都議会議員の最後は警察消防委員会に所属していたので、こういったところにこういった形でお問い合わせをしてみたいかということ、お二方にはお話を、一応は伝えていただいているんです。

こちらとしても、西砂小学校の通学路の直近ということもあるので、やはり子どもたちの安全というのがまず第一。それで市民がどうでもいいということではなくて、そこであと市民がどうなのかということにつながってくると思いますので、その点については、立川市としてここではまだ具体的に、大変恐縮なんですけれども、方向性は一緒です、皆さんと考えていることは。

どういう形で警察に規制をしてもらえるようにお願いをするのかということについて、立川市の担当部局も一応ちゃんと考えています。今、それに向けての基礎資料をつくって、こういうふうに攻めていくというお願いの仕方の方向性を昨日ちょうど指示したところです。それが相手方も、両方とも相手方のあることなのですが、ただ立川市としては最後まで市民の皆さんのご懸念、ご心配で、できてしまったからもうしょうがないということではなくて、その部分については粘り強く規制をかけてもらえるようにお願いは続けていきたいと思っています。

次の横田基地のオスプレイ等、確かに私もリサイクルセンター行くことがあって、そうすると通常の輸送機って本当におっしゃるとおりのルートで、ヘリコプターとオスプレイはかなり急旋回をしながら飛んでいるなというのをリサイクルセンターに行くと、こういうことかということ自分でも目の当たりにさせていただきました。

事故とかが起きた後とか、この間ずっと問題起こしているじゃないですか。というときに、立川市単体で言ってもなかなかですので、各市持ち回りで今、羽村市さんがたしか担当だったと思うんですけども、5市1町、東京都と5市1町の横田基地の周辺対策市町村の会議があって、そこで一応みんなのコンセンサスが得られるような内容にまとめた上で、横田基地の司令官並びに北関東防衛局に対して要請はしています。ただ、要請はしているんだけど、それを一応は重きを置いてくれる場合もあるけれども、そうじゃない場合もあるというのは、外交防衛上の問題で歯がゆく思うところがあるんですけども、でも私自身はなるべく横田の何かがあるときには行くようにしています。

それは、こちらとして地域の首長としての立場は地域住民はこういうことを心配に思っているんだと。それはそちらにとっても隊員、例えばオスプレイの問題で言えば、墜落することがあったら、地域住民の命の問題だし、そちらはあなたの隊員の命の問題じゃないかと。そういった部分をいかげんなままに飛ばしたりだとか、危険な飛行をするということは、それはいかなものなのかということ、そういった横田の司令官の方とお会いしてお話しするときには私言っています。言える機会があったときには。だからといってすぐ変わるわけではないんですけども、それは地元市長の責務として言うべきときには言うし、友好関係を結ぶときには

友好的な対応もあるし、そこはメリハリを付けながら、何かあったときに地元の司令官とは言える関係をつくっておかなくちゃいけないんだよなど。ただ文句だけ言っているのと、聞いてくれないじゃないですか。だから、そこら辺は人間的にはちゃんとお付き合いをするようにして、それぞれの立場として言わなくちゃいけないことは言うように心がけています。

ただ、一首長が言ってもなかなか、向こうもそれは言っていることがもっともだと分かるよとは言ってくれるんだけど、じゃあそれで具体的に何かがあるかという、もう向こうも上からの命令で、ここからオスプレイを飛ばしますっていう話になると、もう運用を開始するという事になってしまうので、その部分はやっぱり日米の防衛という観点の限界というのを感じながらも、何も言わないということはないので、やっているということがご理解いただければと思います。

あと、国有地の木は、結果としては良かったということで、立川市が言ったかどうかは定かではないですが、最近、道路課、公園緑地課の動きが早くなってくれていて、絶えずパトロールもしてくれています。今、陥没の立川市の場合には、あれだけ深い下水管というのは、立川市が管理をしているところではあそこまでのない。とはいえ、もう既に読売新聞の記事には早速立川市やっているというのが出ていると思うんですけども、なるべく小まめに見るようにして、先ほどたらい回しの話もあったんですが、都道の場合には、それは立川市から東京都に北多摩建設事務所ですべてやってくださいとか、国有地であれば国に対してこういう話があるのでやってくださいというのは、立川市からちゃんと要請するようにしているんで、その結果なのか、全く別の要因なのかは分かりませんが、何かあったら言っていただければ、それぞれの担当に伝えるようにします。

最後、PFASの問題です。

これは、来週の定例記者会見の中で、記者の皆さんに昨年11月、私が就任して2回目の立川市所有の井戸のPFASの数値がどうであったのかということ公表する予定になっています。大変申し訳ないですが、この場で数値のことについては申し上げられないということをご容赦いただき、1週間待ってくださいということです。

あと、今回は9つの立川市所有の井戸にプラスして19か所だったと思うんですけども、民間所有で万が一のときに防災等の生活用水で使えるようにという形で、立川市がこの間ずっと全部把握し切れているわけでもないんで、誰の家に井戸があるのかまでは分かりませんが、立川市として、そういった形で把握をしている井戸の民間の所有者の方に対して、令和6年度取組の中では、あくまでも希望する方にその結果についてはお知らせします。

ただ、その場所がどこであるとか、誰が持っているとかということは、それは公表しませんと、東京都の調査と同じようにという形で募ったところ、19か所の方が調査に了解をしてくれたということで、19か所の調査結果がどうだったのか。水道水の現状では暫定基準値といわれて、令和8年4月から水質基準に引き上げられるとニュースで出ておりますけれども、1リットル当たり50ナノグラムを超えているのかいないのかという部分について、超えた箇所が何か所なのかということは記者会見で公表する予定になっています。

立川市のものについては、立川市所有ですから場所もちゃんとお知らせをして、どこの場所がどうだったのかということはお伝えをする予定になっていますので、それを見ていただくと傾向が分かると思います。

ただ、この場でお伝えしてもいいのかなというところは、総じて特定の地域だけではない、皆さんがお住まいの地域がそこだけが濃いのではないのかとか、全体を見ているとそういうことでもないんだなということ。地下水脈がどうなのか分かりません。ただ、立川市としては、あくまでも環境モニタリングの一環として、過去、前までは調べてもいなかった。東京都の環

境局はずっと覆面で市内4エリアに分けてやっていたけれども、それで東京都も今年、4年でワンサイクルだったのをもう一気にやってしまうということで調べていますが、その結果はまた東京都から発表されると思います。

また、皆さんの飲んでいる水がどうなのかというところに関しては、東京都水道局のホームページを見て、自分の住所を入れると何々の給水所から流れてきて、何々の線、何番線から皆さんの水が配水されている、そこをクリックするとその水質の調査の結果が全部出ていますので、それぞれの立川市内のエリアの皆さんの飲んでいる水がどうなのかというところは、当然50は超えていない数値なんですけれども、ご覧になっていただきたい。

ただ、総じて懸念をしているのは、こういった話が出ると立川市は特にこの砂川地域というのは、都市農業が盛んな地域なので、農作物への影響というのはまだ農水省でも何も発表がされていなくて、これから調べるというような報道もあるんですけれども、立川市としてはあくまでも環境モニタリングの一環として、傾向がどういうふうに移していきのかということを経年で見たいと思っています。その一方で、立川市の農作物が危ないみたいな風評被害につながるような形での対応はしていきたいと思っています。

農業者の皆さんとも昨年もお話をしました。当然、横田に近いところはどうかって言われてしまうのではないかとかというように、そこら辺は立川市としてのマスコミの方への発表の仕方というのは、細心の注意を払って発表していきたいと思っています。目に見えないものだから怖い、分からないということはあるんですけれども、ただそれがちゃんと分かるまでは、変に騒いでも、それによって生活圏を奪われてしまうような場合もあるので、人の命も大切だけれども、人の暮らしも大切なので、そこのところはバランスを取って、立川市としては繰り返すようになりますが、環境モニタリングの一環として、現状どうなっているのかということとは市民の皆さんにお伝えをしていこうという、そういった姿勢で今後も継続して調査をしていきたいと思っています。

では、次の方。

(参加者)

GLPの関係、これ確かにできる場所は昭島市なんですけれども、影響からいうと交通関係はもちろんなんですけれども、そのほかにデータセンターもたくさんできるので、ヒートアイランド等も含めて、この立川市、それから西砂地区が大きな影響があるんじゃないかなと思っていました。

今まで、昭島市で数回説明会があったんですけれども、私も何回か参加したんですけれども、やっぱり立川市でもそういう説明会等やって、住民の方がどういう影響があって、どういう状況なのかなという。先ほど交通量が4,000台という話もありましたけれども、トラックだけではなくて、そのデータセンターに勤めている方の車がたくさんあって、それで時間制限をするという話も前に出たことがあるんですけれども、データセンターに勤務している方の車は時間制限が全然なくて、子どもの通学路の問題があるんじゃないかなという話が出たりしているんですけれども、そういうことも含めて、比較的影響の多い西砂地区、一番町も含めて、そういうところで説明会をやるといいかなと思っていました。

結果的に立川市のまちづくり部の出前講座ということで説明会やることになったので、非常に安心しているんですけれども、やっぱりその場所もできれば西砂地区の皆さんが参加しやすいようなところでやれるといいかな。何回かやって、とにかく住民の方がどういう影響があって、どういうふうなことを考えなきゃいけないのかな、住民としてどういうことを立川市と関連のところと相談していかなくちゃいけないのかなという、建設するのは反対だよというんで

はなくて、そういう状況をいかに市民の方が把握して、それでいろんなことを考えていく、議論していくという、そういうことが必要ではないかなと現時点では思います。説明会があるということで非常に安心しているんですけども、プラスして比較的住民の皆さんが参加しやすいような、特に交通関係とヒートアイランドも含めて、データセンターの影響がかなりあるかと思うのでそういう説明会、西砂地区でやる等も含めて、ぜひお願いしたいなと思っています。

(市長)

一義的には、G L Pが説明会をやるべき話なんですよね。立川市として持ち得るデータというのも当然、G L Pから出してもらるか、あるいは環境影響評価書等々に基づいて、どういう結果が出ているのかということから推測すると、こういうことですよという話になるんで、基本的にはG L Pがあるのが昭島市だから、どうしてもそれは昭島市が主体になるんだけど、これも相手様のいることなので、叶うならばG L Pからやってもらえるように促していくということは、一つなんだろうなと。

その上で、先ほどのお話し、特定の団体のところに、立川市として出前講座としてやるということが、政治的な問題であるので、それはどうなのかなというところはあるんだけど、ただ立川市として今知っている情報とか、そういうものを別にお伝えすることは別に悪い話ではないので、そういったお伝えをする機会というのはちゃんと持っていったほうがいいのかなと。

立川市のセクションとしては、まちづくり部が窓口になるということですので、地域の中で今、現状どうなっているのって、その状況だけでも立川市として知っていて、開示できる情報に関してはお伝えをするということのご要望があるようでしたら、そういった機会はつくってもいいのかなと。ちゃんと立川市として責任を持って、それは多くの広く市民の皆様にも公平性を持ってやっていければいいのかなと思っています。

それは、まちづくり部の都市計画課にもそういったご意見が出たということは伝えます。その会はあくまでも出前講座でセットしていそうなんで、別に知っていることを隠す必要もないのでということに対応するということです。

まだ発言されていない方で、どうぞ。

(参加者)

私の感想なんですけれども、私、50年近くここに住まわせてもらっていますけれども、昔から変わらないんですよ。昔から立川のチベットとか言われていて、もういつも何か端でやっていますけれども、本当にこの五十何年変わらないです。地元から市長が出たんでみんなで期待していたけれども、なかなか一向に変わらない。我々が本当に恩恵を受けていると思うのは、西武立川駅を建てていただいたり、あるいはリサイクルセンターを市民には直接どうこうではないんですけども、本当に道一つにしても、もう五十何年前から変わらないで、何で変わらないのかなと思ったんですけども、今、市長の話伺っていて、やっぱり我々が言わないのが良くないなと。やっぱり我々がもっと地元でちゃんとお願いしていないんじゃないかなということを痛切に思いまして、今日はこれから、ここをおかげさまで、この学習館を中心にまちを良くしようということは、結構盛んになってきておりまして、昔ほど取り残されたみたいな雰囲気はなくなってきているんで、何とかみんなで一生懸命やりたいなと、私の感想です

(市長)

ありがとうございます。

やっぱり市内の中でもそれぞれその地域によって見え方って、隣の芝生は綺麗に見えるというところもあるんですよ。私の栄町の友達は駅周辺に行くにもまちに行ってくるとかって、その立川市の南の方から言わせると、何か砂川ばかり予算使ってとかって言う方もいらっしゃるけれども、現実問題から言えば、そういう話でもないじゃないですか。前市長を擁護するわけではないんだけど、市長という立場になって私も分かるんだけど、私、曙町にずっと生まれ育っているんですけど、自分のところって逆にやりにくくなってしまふ。我田引水をしているように見られがちなので、とはいってもやらないわけにもいかないし、だからなるべく市域全体を見渡して、それぞれの中での課題というものを少しでも平準化して取り組んで行けるように、市長としては心がけていかなくてはいけないなと思っています。

ただ、その中で何を判断基準にするのかという話になると、何をやるにも良いという人もいれば、悪いという人もいます。どんなものでもいて当たり前だと思います。だから、そういった賛成反対がある中であっても、6割、7割の方がそうしてほしい、そうしたほうがいいよねって思うようなコンセンサスの得られるものから、やっぱりそれは優先して取り組んでいくと。ただその逆目の人たちはどうなっているんだよってということって、どの話でもたぶんあると思うんだけど、そこは市長として飲み込んで、大方の市民の皆さんがそういうふうに希望しているんだったらやったほうがいいよねということで、自分の中では整理をしようと思っています。ぜひ先ほどの道路の問題だとかそういったことも、思っていたけれどもなかなか声が上がってこなかったというようなことも、実現するのに何年かかるか分からないけれども、でも誰かが初めの一步を踏み出さなければ何も変わることは、きっかけも得られないので、そういったことは私の市長の間にはもしかしたらできない可能性が高いけれども、何か地域の皆さんが問題があるのであるならば、それは立川市としての課題として取り上げて、その一步は踏み出したい。それが後世につながればいいのかと考えています。

(参加者)

各方面でいろいろお世話になっております。

昨年もタウンミーティングに出席させていただきまして、それで立川駅の北口のまちづくりについてご回答いただきましたので、なかなか時間もかかることなので、これについては覚えていただければ結構です。

特に回答はいいんですけども、今、立川市では第5次長期総合計画を策定中ということで、パブリックコメントも1月20日ぐらいまで行っていたと思うんですが、その前に12月議会で組織条例が可決されたようなんですが、やっぱり総合計画を実現するために組織があるのに、何か先行して組織条例を上げたのはどうかなというのは、私の個人的な意見です。

それで、議会でも特別委員会つくって、着々と計画を議会の中では説明しながらやってきたということなんだろうと思うんですが、その中で組織条例をつくってしまつて、その後、12月25日からパブコメって、何か前後しておかしいんじゃないかなと思うので、パブリックコメント出しても、結局長期計画に反映されるのかどうかって何か矛盾を感じたという意見です。

それで何が聞きたいかというのと、その中で組織条例の中で、いわゆるまちづくりの部分が今まではまちづくり部と基盤整備部という形で、いわゆるハード関係をやっていたと思うんです。それが、今回都市整備部と産業まちづくり部と、いわゆる産業とまちづくりを合体したような部ができるというあたりをその辺を、私も議会とか全部見ていけば分かると思うんですが、その辺結果しか見ていないので、どういう形で産業まちづくり部という形になったのか、教えてくださいたいなと思います。

(市長)

今回の組織改正、通常は毎年3月なんです。これって長期構想云々に関わらず、組織改正というのはその時々で必要に応じて、コンセプトに合わせて変えていくという、変えないと硬直化してしまうということもあるので、ただ今回は第5次長期基本構想、10年間の構想の節目のときなので、少し大規模な組織改正を行わなくてはならないということで、そうすると去年も3月末の話なんですけれども、何々部何々担当となっていたものを部に昇格、例えば福祉部があって、そこに保健関係のものがぶら下がっていたものを普通に福祉部と保健医療部ってただけで、庁内のシステムだとか、決裁のものが春の時期に4月にえらい混乱をしたということがあって、であるならば方向性として、議会の中でもこの間ずっと特別委員会で議論していただいている、その部分については大方問題がないという部分については、組織条例で部の単位は早めに決めさせていただいたほうが、庁内の準備がスムーズに済んで、市民の皆さんに4月以降迷惑をかけることが抑えられるだろうということで、通常よりも早めに組織条例だけはやりました。これもまた10年間全く変わらないという話ではないので、その中で、なぜ分けたのかというと、このまちづくり、その時々のお考えがあると思うんですけれども、従来のまちづくりの中でのハード面のものは今までとあまり変わらないんです。

その上の部分の計画だとか、あるいは交通関係だとか、そういった今、地域交通のぐるりんバスをどうするのかということも今、運転手不足でなかなか幹線のバス、立川バスや西武バスが立川市内を走っていますけれども、減便しているじゃないですか。もう運転手全然集まらないというところで、じゃあそれも含めながら地域の幹の部分はどういった公共交通で民間さんにやってもらう、じゃあ枝のところをどうするのか、さらに最後の葉っぱのところをどうするのかということをお客様にアンケート調査をお願いしたり、どういうご要望があるのかということの今、地域活性化協議会という協議会をつくって、いろんな事業者の方に入っていて、地域公共交通計画をしっかりと立てて、私の公約の中にもぐるりんバス等、等とっているのは、自前の方、タクシーなのか、あるいは地域の中でお任せをするような、そういったものなのか、いろんな手法って他の市でもやっているものも取り入れながら、これから高齢社会を迎える中で、移動の手段というものをどういうふうに確保していったらいいのかということになるべく失敗しないように、せいて事を仕損じないような形でやっていきたい。その中で、上物の部分というのを少し産業観光の部分と含めて、どういうふうに移動手段を確保していくのか、ソフト面とハード面を分けさせてもらったということで、産業まちづくり部と都市整備部に分けて、さらに、環境下水道部は今までどおり下水道の管理とごみ対策をしていくという、そういった趣旨で分けているというふうにご理解をいただきたい。

ただ、私の市政の中での思いは、セクショナリズムはなるべくなくしていきたいと思っているんです。1つの部で完結、世の中が1つのセクションで完結することなんて限られているじゃないですか。それってやっぱりお隣同士のいかに横、昔から言われていることなんだけれども、縦割り行政っていうのは言われていることなんだけれども、仕事をする上ではやっぱりセクションを決めなくちゃいけないけれども、そこに市民要望というのは多岐にわたることってあって、それはお互いの中で連携をしていけるような組織風土というものをつくっていききたいなということで取り組んでいきたい。

ただ、組織と割り方としては今のときは取りあえずそういう形で従来と変えたやり方をやってみようということで決めさせていただいた。早めに決めたのは、そういうお考えもあるかと思えますけれども、パブコメの結果を受けて、組織の割り振りまでは影響しないよねということです。それはまた不都合があれば、1年後でも2年後でも、数年単位で変えていくということは当然、柔軟にあるのかなと思っています。

では、次の方。

(参加者)

古い話、新しい話でありまして、武蔵砂川駅です。北側の市道2級25号線、S型の旧日産に行く道路です。そのところに平成20年5月にここにあるんですけども、インターネットで立川市都市整備部道路課工事係でつくった武蔵砂川駅北側地区幹線道路整備事業計画というのがあるんです。この中見ていましたら、2メートルぐらいの小さな立川市の市道があるんです。その先には東側に上砂川小学校がございまして、結構大きな小学校ですよ、その上砂川から見た東側から通っている子どもたちは、PTAの会長さんに聞いたところ80名の方々がいらっしやいまして、見たとおり武蔵砂川の北側ってというのは非常に道路が狭いです。幹線道路ができる予定なんですけど、途中までしかできておりませんので、昨年4月に、子どもの交通事故が起きました。そんな関係があるので、2メートルのほんの小さな市の道路、予定地があるんですけど、今後どういうふうな考えでいるか、ここで答えなくて結構ですけども、後ほど担当課から私に回答をお願いします。

(市長)

分かりました。

私も今、その場所のイメージは頭の中に入っているんですけども、具体的な計画がどうかというところが、予算の中でも今、拡幅したところに下水管の工事しなくてはこのは予算の中で頭に入っているんですけど。

(参加者)

これを見れば分かりますので、後ほど。

(市長)

では後ほど担当課からお答えさせていただきます。

(参加者)

よろしくお願いします。

以上です。

(市長)

では、次の方。

(参加者)

GLPの問題は先ほどたくさんお話しいたしまして、これからも要請を続けていただければと思うんですが、GLPの上地といいますか、道路を挟んだところにスーパーマーケットのロピア、昭島市になるんですが、アベイルとガソリンスタンドの裏手にロピアができるんです。それで、昭島市の問題なので、相手様がいらっしやる話だとは思いますが、ロピアってすごい人気で渋滞が見込まれるんです。

最短ルートとなると、ガソリンスタンドとアベイルの間に入って、右折入庫になります。ただロピア自体は右折入庫は禁止っていう看板はあるんですが、カーナビ自体ではこちらの案内になって、ガソリンスタンド、アベイルからロピアまでの間って歩道もなくて狭いんです。そ

こを右折入庫できなくて渋滞になって、松中橋に押ししてということが想定されるので、GLPのトラック問題はもちろんのこと、ロピアに対しても渋滞になったとき、警備員の配置で右折入庫できないので迂回するようであったり、難しいかと思いますが、カーナビの設定会社さんなどで、もともと迂回ルートにしていたいたり、そこも交通渋滞対策にもつながるんですが。あとロピアに向かう道に歩道がないので、その整備であったり、立川市の問題ではないんですが、立川市にすごく隣接した部分なので、ご対応を要望をしていただけたらと思います。

(市長)

昭島市さんのことなのであまりとやかくは、ただ昭島市長とはざっくばらんに話せる関係でもあるので、そういう話が出たということはお伝えをするということなのかな。

そこから先についてはやれともやるなとも言えないし、それは他の市域のものなので、でも立川市民の方の中ではそういったご意見もあるので、もしかしたら昭島市でもそういうふうに使われている方もいらっしゃるかもしれないので、お耳には入れておきますねという形の言い方であれば、今度、昭島市長にお会いしたときにはお伝えはできるのかなという感じのお答えしかできないので、言い方は相手の気分を当然害さないように、ただそういったお話もあるんだっていうところで、うまく言葉を選びながら、そういったご意見があるということも頭の中に入れてねっていうことは、お願いできたらと思います。

では、最後。

(参加者)

今度、第七中学校の南西角から真西に真っすぐ処理場に向かっている道路、市長さんが選挙運動されていたときにたまたま角であって、この道危ないよって、覚えておられるか分かりませんが、あそこは歩道がなく、ガードレールがないんです。中学生を中心とした通学路になっておりますので、せめてガードレール設置できなくても、ポールガードを設置するとか。

警察署との関係は分かりませんが、30キロ制限なのに、幅狭くてガードレールもないのに、夜間を中心に飛ばす人が多いんです。それをお願いしたい。

あと、最後に西砂学習館、小中高生が土日祝日、常に学習する部屋があるように、一番勉強しやすい第一教室ってあるんですけども、40名、あそこを確保するようにお願いしたい。

以上です。

(市長)

七中の歩道がなく、ガードレールで、せめてポールでもってというのは、道路課で、何かしらの対策ができないのかどうなのかというのは検討させていただきます。

最後の西砂学習館の勉強なんですけれども、教育委員会にそういったご意見があるということは伝えます。

私この後、幸学習館で午後やるんですけども、ロビーのところとかでも勉強している子がいたりだとか、あとアイム、今、工事に入っているんですけども、アイムの5階のところでも勉強している子とかがいて、やっぱり学習の場所がなかなか家でたぶん勉強する場所がないんだって、やっぱりそういった子たちに場所って提供してあげたいじゃないですか。

だから、極力空いているんだったら、学習館なんかもどんどん開放したほうが施設の有効活用にもつながるし、そこら辺はたぶん一般の利用者の枠の問題と子どもたちの問題でどうなのかというところで折り合いが上手くつく範囲で、拡充はしてほしいということは、教育委員会

には伝えていきたいと思っています。私が判断できないので教育委員会に伝えていきたいと思っているということでお預かりして、私の言葉でさらにそこに強みをつけて教育委員会にはお願いしたいと思います。

たぶん遠慮されて手を挙げなかった方もいらっしゃるかと思いますが、また次の機会にぜひご意見をお寄せいただければと思っております。

(改革推進課長)

本日は、長時間にわたり多数のご意見お寄せいただきましてありがとうございました。

以上をもちまして、市長と本気で語るタウンミーティング「言っちゃお！市長と。」を終了させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。